# AXR85/100

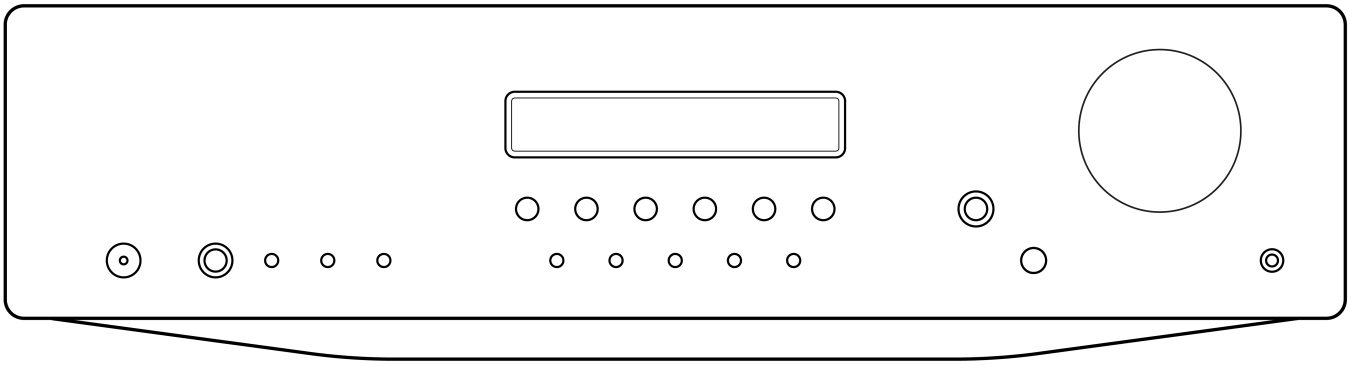
Manual Generated: 19/11/2024 - 10:52

# Table of Contents

AXR85/100 ..... 3
はじめに ..... 3
AXR85/100 に含まれるもの ..... 4
フロントパネルコントロール ..... 5
リアパネル接続 ..... 7
リモコン ..... 9
接続 ..... 10
アンテナ ..... 14
操作方法 ..... 15
トラブルシューティング ..... 20
技術仕様 ..... 22
よくある質問 ..... 25

AXR85/100

Last updated: April 23, 2024 03:54. Revision #12599



# ユーザーマニュアル

## はじめに

Last updated: July 29, 2022 10:29. Revision #9843

本ガイドは、本機を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点でその正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーであることから、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

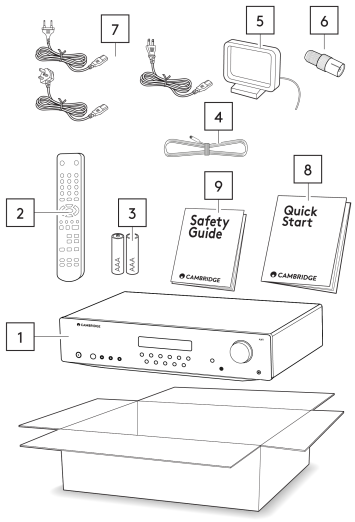
 Copyright Cambridge Audio Ltd 2022

今後の製品、ソフトウェアアップデート、限定オファーに関する今後のニュースについては、必ず http://www.cambridgeaudio.com/register で製品を登録してください。

# AXR85/100 に含まれるもの

Last updated: July 29, 2022 03:01. Revision #9845

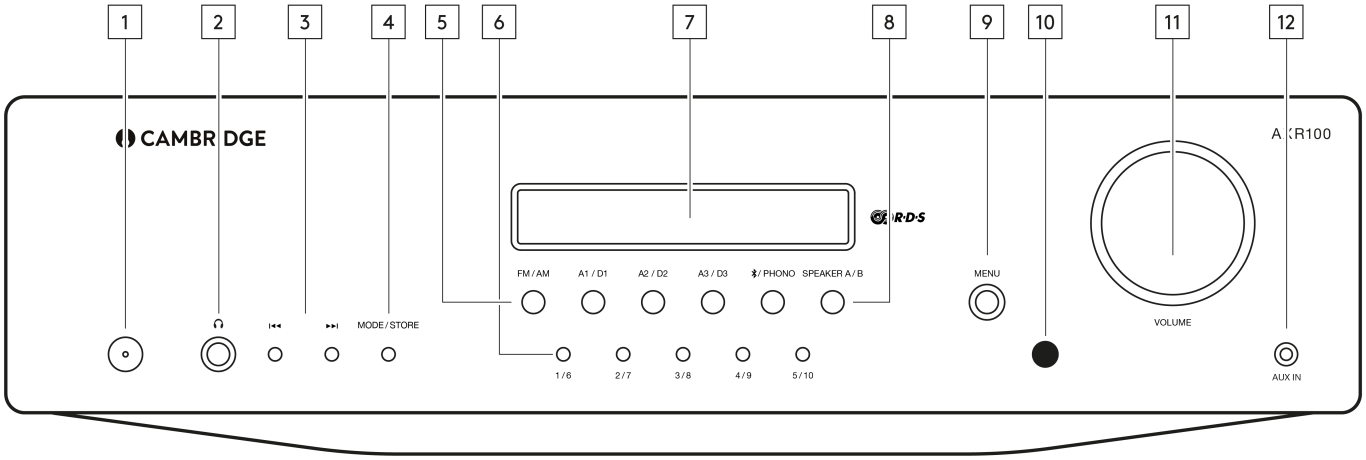
AXR85/100 のパッケージには次のものが含まれます。




1. AXRステレオ・レシーバー
2. リモコン
3. 2×単4電池
4. FMアンテナ
5. AMアンテナ
6. FMアンテナアダプター（CUユニットにのみ付属。）
7. 電源コード
8. クイックスタートガイド
9. 安全ガイド

# フロントパネルコントロール

Last updated: July 29, 2022 10:29. Revision #9842




1.電源ボタン - スタンバイモード（暗いLEDで表示）とオン（明るいLEDで表示）を切り替えます。スタンバイモードは省エネモードで、電力消費は0.5W未満です。使用していないときはスタンバイモードのままにしておくことができます。

自動電源切断（APD：Auto Power Down）

APDのオン/ オフは、設定で変更可能です。設定を変更するには、LEDが点滅するまで電源ボタンを押し続けます。

以下の 2 つのオプションは、どのオプションが選択されているかを示しています。

スタンバイが 5 回点滅 - APD が無効になります。APD OFFがディスプレイに表示されます

スタンバイが 5 回点滅 - APD が無効になります。APD OFFがディスプレイに表示されます

注意:APDの設定を変更する前に、ユニットの電源が入っていることを確認してください。

2.ヘッドフォンソケット - ステレオヘッドフォンを6.3mmのジャックプラグで接続できます。インピーダンスが32~600オームのヘッドフォンを推奨します。

注意:ヘッドフォンを接続すると、ラウドスピーカーは自動的に消音されます。

3.スキップ/スキャンボタン - スキップ/スキャンボタンは、DAB/FMチューナーを選択した場合に使用します。選択しているモードによって、ボタンの機能は異なります。

Preset（プリセット）モード – ユーザーが保存したプリセットを順々または逆順に移動します。

自動モード - 前または次に使用可能なステーションを検索します。強い音声電波を探知したところで止まります。

Manual（マニュアル）モード - 周波数を手動で上げたり下げたりします。

注意:プリセットモードが選択されていると、ユニットは自動的に最初の利用可能なプリセットにチューニングされます。

4.モード/ストアボタン - AM/FMモードに使用されます。プリセット、オート、そしてマニュアルの3つのモードを切り替えます。このボタンを長押しすると、現在選択されているラジオ局の周波数がプリセットのバンクに保存されます。

プリセットの保存の詳細については、「取扱説明書」セクションの「ラジオプリセットの保存」ガイドに従ってください。

5.入力ソース ボタン (AXR100 のみのデジタル入力 D1、D2、D3) - 関連するソース ボタンを押して、目的の入力ソースを選択します。

注意:正しい入力ボタンが選択されていない場合、アンプから音は出ません。

6.プリセットボタン - AM/FMモードに使用されます。プリセットボタンは、ユーザーが保存したラジオ局のプリセットを選択するのに使います。

- プリセットボタンを1回押すと、最初の5つのプリセットのいずれかが選択されます。
- 長押しすると、後の5つのプリセットが選択されます。
- これらのプリセットは波帯ごとに別々に保存され、FM用に10個、AM用に10個あります。FM/AM ボタンを押して、バンドと 10 個の

プリセットのセットを切り替えます。

プリセットの保存の詳細については、「取扱説明書」セクションの「ラジオプリセットの保存」ガイドに従ってください。

注意:フロントパネルから直接、周波数帯ごとに10あるプリセットにアクセスできますが、さらに5つのプリセット（11 ~ 40）がそれぞれに用意されています。それらには、スキップ/スキャンボタンを使って順番に移動し、アクセスします。

7.選択されている入力源、音量、トーン/ バランスのレベルなどの情報を表示するのに使われます。FMまたはAMチューナー入力が選択されているときは、ラジオ周波数またはRDS局名が表示されます。

注意:新品のディスプレイには保護膜が付いています。よりクリアに表示するため、保護膜は剥がしてお使いください。

8.SPEAKERA/Bボタンは、2対のラウドスピーカー端子についてのオプションを切り替えます。オプションには、「スピーカーAのみ」、「スピーカーBのみ」、「AとBの両方」、そして「全スピーカーのオフ」という4つがあります。

注意:「全スピーカーのオフ」は、ミュート機能とは異なり、Rec Outやヘッドフォン出力は有効なままです。

9.バスを選択するには、このボタンを1回押します。2回押すとトレブルが、3回押すとバランスが選択されます。これらのいずれかのオプションが選択されると、音量コントローラーでレベルを調整できるようになります。

しばらくの間何も押されないと、音源が表示され、音量コントローラーの機能は音量レベルを調節するためのものに戻ります。

注意:低音、高音、バランスの設定に対する調整は、ユニットの電源を切ってから再びオンに戻ったときに保存されます。

10.赤外線センサー - 付属のリモコンからIRコマンドを受信します。リモコンとセンサーの間には、障害となるものは置かないでください。

11.音量調節-本機の出力からの音の大きさを増減させるのに使用します。

ラウドスピーカーやサブアウト、ヘッドフォンの音量レベルを調整します。

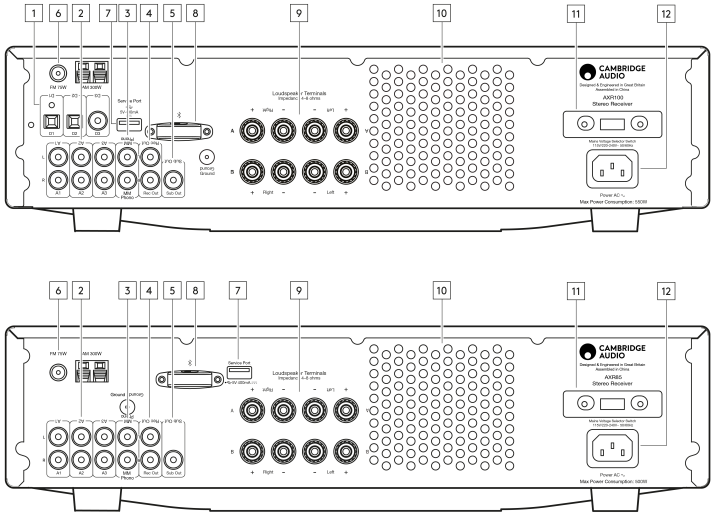
注意:音量をコントロールしても、Rec Outの出力レベルは一定であり、影響を受けません。

音量コントローラーは、メニューオプションであるバス、トレブル、そしてバランスのレベルを調整するのにも使われます。

12.AUX入力ソケット - このソース入力を使用すると、スマートフォンなどのポータブルオーディオデバイスを3.5mmステレオジャックを使用してユニットの前面に直接接続できます。プラグが差し込まれると、、この入力が自動的に選択されます。

# リアパネル接続

Last updated: December 16, 2022 03:14. Revision #9841




1.デジタル入力(D1、D2、D3) -TOSLINKおよびS/P DIF同軸デジタル入力。

注意:お使いのシステムから最良の結果を得るには、高品質のCambridge Audio相互接続のみを使用することをお勧めします。これにより、デザインされたとおりの最良のパフォーマンスが実現します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

2.オーディオ入力 - これらの入力は、CDプレーヤー、BD / DVDプレーヤーなどのオーディオ出力など、あらゆる「ラインレベル」のソース機器に適しています。

3.フォノ入力 - この入力にはフォノステージが組み込まれています。

可動マグネット(MM)または高出力可動コイル(MC)タイプ(2-6mV出力と30-50kΩ負荷インピーダンスの間)のフォノカートリッジを取り付けたレコードプレーヤーを使用できます。

低出力のMC型（出力が<1mVで、通常負荷インピーダンスが10 ~ 1,000Ω）は直接接続することはできず、対応するトランスかヘッドアンプが必要になります。

注意:レコードプレーヤーとAXRの両方の「アース」端子は、ノイズやハム音のピックアップを最小限にするため、（可能な限り）アース線で接続する必要があります。

ターンテーブルまたはCRT TVは、浮遊磁界により干渉を引き起こすおそれがありますので、本機の近くに設置しないでください。

4.REC OUT（レクアウト） - CDレコーダー入力、テープデッキ、またはその他の互換性のある録音装置などの録音入力に接続します。

この出力は、本体の音量によって変動しない一定の高レベル出力を提供します。このため、AXR85/100はプリアンプとしてのみ使用できず、レクアウトをサブウーハーに接続することはできません。

5.SUB OUT（サブアウト） - アクティブなサブウーハーの入力ソケットに接続します。

注意:サブアウトには200Hzの2次ローパスフィルタが適用され、200Hzを超える周波数がフィルタリングされます。

接続されているスピーカーの周波数は、サブアウトが使用されているときに調整されず、完全な周波数範囲が送信されます。

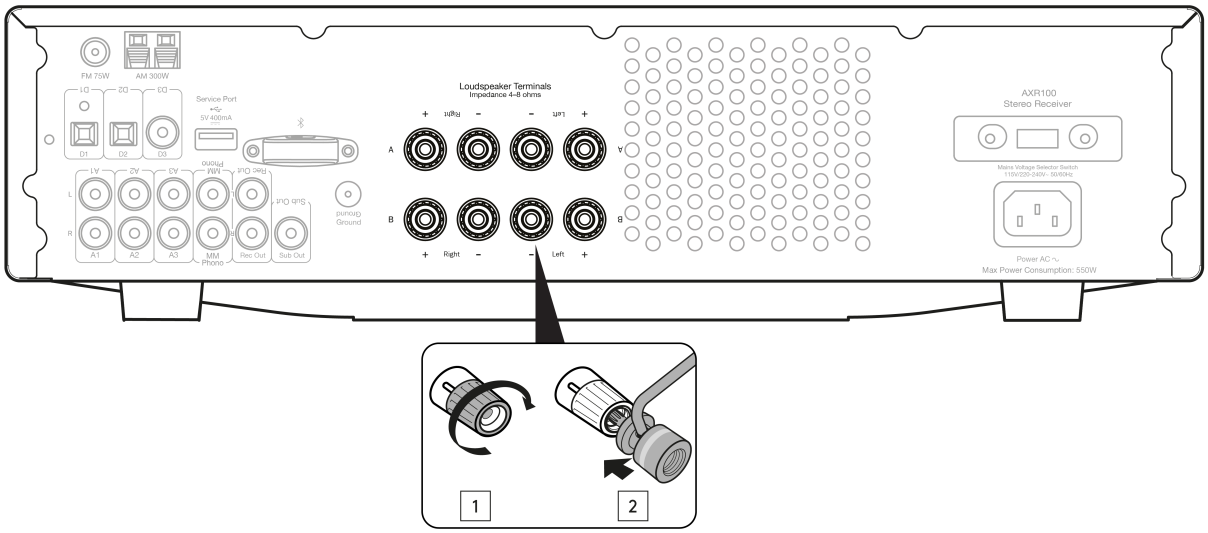
6.AM/FMアンテナ - 無線信号を拾うためのチューナー空中接続。本書の「接続」の項をご参照ください。半永久的にお使いになる場合は、AM/FMアンテナの屋外設置を強くおすすめします。

7.サービスポート - サービス使用のみ。故障の原因となり得ますので、ここには何も接続しないでください。

8.Bluetoothアンテナ - ほとんどの携帯電話、タブレット、ラップトップから直接ワイヤレスストリーミングBluetooth(A2DP / AVRCP)オーディオ機能に使用されます。本書の「操作方法」の項をご参照ください。

9.ラウドスピーカー端子

注意:バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。




ラウドスピーカー端子の2つのセットが利用可能です:

- A(メインスピーカー端子、上段)

と

- B(2次切り替え可能なラウドスピーカー端子、一番下の行)。

左チャンネルのラウドスピーカーから左のプラスとマイナスの端子に、そして右チャンネルのラウドスピーカーを右のプラスとマイナスの端子にそれぞれ接続します。

左右どちらについても、赤い端子がプラス出力、黒い端子はマイナス出力です。

スピーカー出力を短絡させるような素線がないように注意し てください。通電が遮断されることがないようにラウドスピーカーの端子がしっかり締まっていることを確認してください。ネジ端子が緩んでいると音質に影響が出る可能性があります。

AスピーカーとBスピーカーを使用すると、シンプルでシンプルなマルチルームシステムを簡単に作成できます。

注意:スピーカー端子は、バナナプラグを挿入する前に丸い部分を取り外す必要があります。

注意: 2対のスピーカーを使用する際は、インピーダンスを通常の8Ωに設定してください。

10.ヒートトンネルベントグリル - ヒートトンネルを介して内部回路を冷却できます。通気口を塞がないでください。

11.電圧選択スイッチ - サービス専用です。

12.すべての接続が終わったら、AC電源ケーブルを適切なメインコンセントに差し込み、ユニットの電源をオンにします。

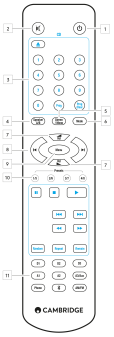
このユニットに付属の電源コードのみをお使いください。

# リモコン

Last updated: August 1, 2022 04:46. Revision #9840

AXRには、このユニット本体ならびに内蔵のチューナーを操作するためのリモコンが付属しています。さらに、青色表示のボタンは、対応するAX CDプレイヤーの操作にも使えます。
リモコンは付属の3A電池を入れて、お使いください。
1.電源ボタン - AXR85/100 をオンと低電力の環境に優しいスタンバイ モードに切り替えます。
2.ミュート - ユニットのオーディオをミュートします。もう一度押すと、ミュートをキャンセルできます。
3.CD(青色のアイコン)　- AXCプレイヤーのみを操作します。詳しくは、AX CDの取扱説明書をご参照ください。
4.スピーカー A/B - 選択したスピーカー端子間を切り替えます (スピーカー A のみ、スピーカー B のみ、スピーカー A と B を一緒に、またはすべてのスピーカーをオフにします)。

5.ステレオ/モノラル - FM が選択されている場合にのみ使用されます。FMステレオとFMモノを切り替えます。FMステレオの電波が弱い場合は、モノを選択することでノイズを軽減することができます。
注意:FM局によってはモノのみに対応しています。その場合はステレオを選択しても何ら効果はありません。
6.モード - AM/FM モードに使用されます。プリセット、オート、そしてマニュアルの3つのモードを切り替えます。
7.音量-ユニットの音量を上げたり下げたりします。バス、トレブル、そしてバランスを選択し、その設定を変更するときにも使います。
8.スキップ/スキャン- FMまたはAMが選択されているときに使います。
Preset ( プリセット ) モード – ユーザーが保存したプリセットを順々または逆順に移動します。
Auto ( オート ) モード – 音声電波が強い次の、または前のラジオ局を検索します。
Manual ( マニュアル ) モード – 周波数を手動で微調整できます。
9.メニュー - 低音、高音、バランスのオプションを切り替えます。選択したオプションのレベルを変更するには、音量コントローラーを使います。
10.プリセットボタン(1/5、2/6、3/7、4/8) - FMまたはAMが選択されている場合に使用されます。ユーザーが保存したラジオ局のプリセットを選択します。
プリセットボタンを1回押すと、最初の5つのプリセットのいずれかが選択されます。
長押しすると、後の4つのプリセットが選択されます。
リモコンから直接、8つのプリセットが利用可能です。プリセットモードでスキップ/スキャンボタンを使うことで、別のプリセットを選択することもできます。
11.ソースボタン(D1、D2、D3、A1、A2、A3/Aux、フォノ、Bluetooth、AM/FM) - 関連するボタンを押して目的の音楽ソースを選択します。
注意:デジタル入力 D1、D2、および D3 は AXR100 専用です。



# 接続

Last updated: December 15, 2022 04:04. Revision #9839

## ラウドスピーカー

スピーカーのインピーダンスを確認してください。インピーダンスが8Ωのタイプであれば使用できます。

赤いスピーカー端子はプラス ( + ) で、黒いスピーカー端子はマイナス ( - ) です。各スピーカーのコネクタ-で、極性が正しいことを確認してください。極性が間違っていると、低音の効いてない弱くて歪んだ音になることがあります。

## 裸線接続の使用

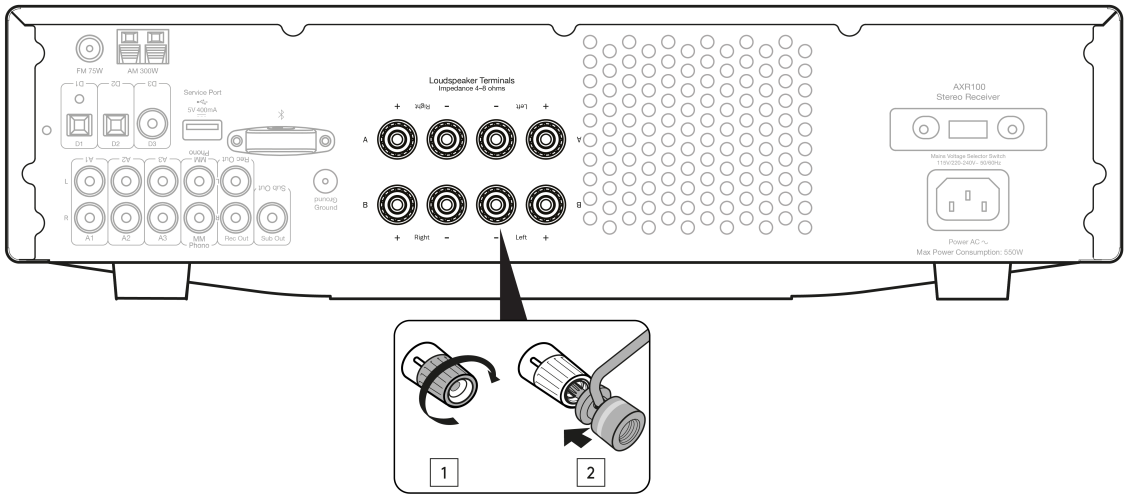
スピーカーの接続用ケーブルから外側の絶縁体をはがし、およそ10mm、ワイヤー ( 銅線 ) を剥きだしの状態にします。ショートの原因となるおそれがありますので、10mm以上カットしないでください。ワイヤーをしっかりと捻ってまとめ、はみ出ているワイヤがないようにします。スピーカー端子のネジをゆるめ、スピーカーケーブルを挿入し、端子を締めてケーブルをしっかり接続します。

注意:すべての接続において標準的なラウドスピーカーケーブルが使われています。

## バナナプラグの利用

このユニットを安全に接続し、ノイズや干渉の原因となりうるワイヤのほつれを防止するためにも、バナナプラグの使用をおすすめします。

ケーブルの外側の絶縁体をむいたら、上記のとおりワイヤをしっかりよってから、バナナプラグに接続します。スピーカー端子からダストキャップを外し、力を入れずにプラグを一番奥まで差し込みます。



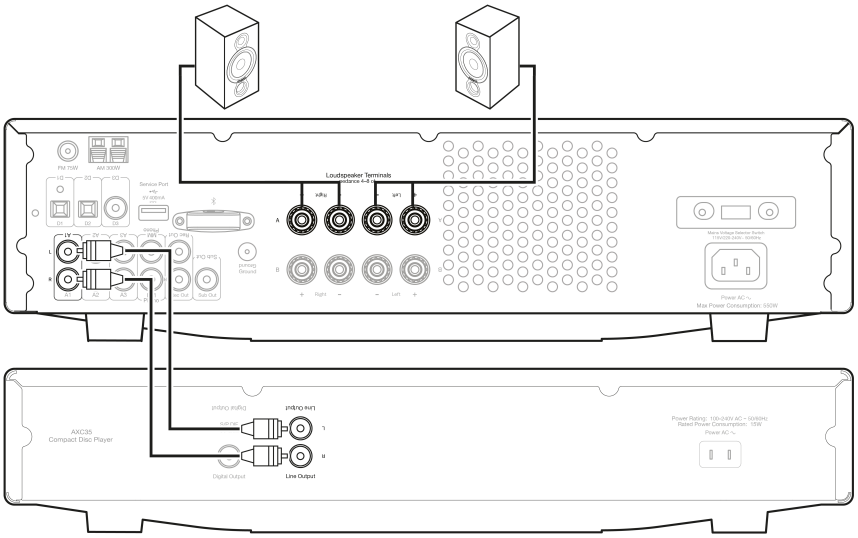

注：

- バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。
- スピーカー端子にバナナプラグを差し込む前に、丸い部分を取り外す必要があります。

## 一般的な接続方法

任意の「ラインレベル」ソース機器をAXR(A1~A3)のオーディオ入力に接続できます。

次の図は、A1アナログ入力と一対のラウドスピーカーを使用した AXR の CD プレーヤーへの基本的な接続を示しています。

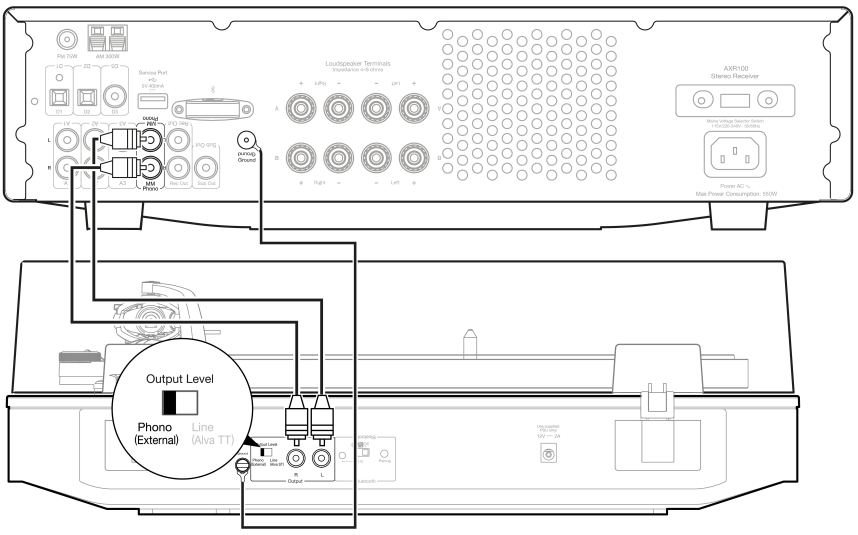



次の図は、フォノ入力を介したターンテーブルへの AXR の基本的な接続を示しています。

本機にはフォノプリアンプ(フォノステージ)が内蔵されているため、ターンテーブルにフォノステージがない場合は、レコードプレーヤーを「フォノ」と記されたユニット背面の入力に接続することができます。

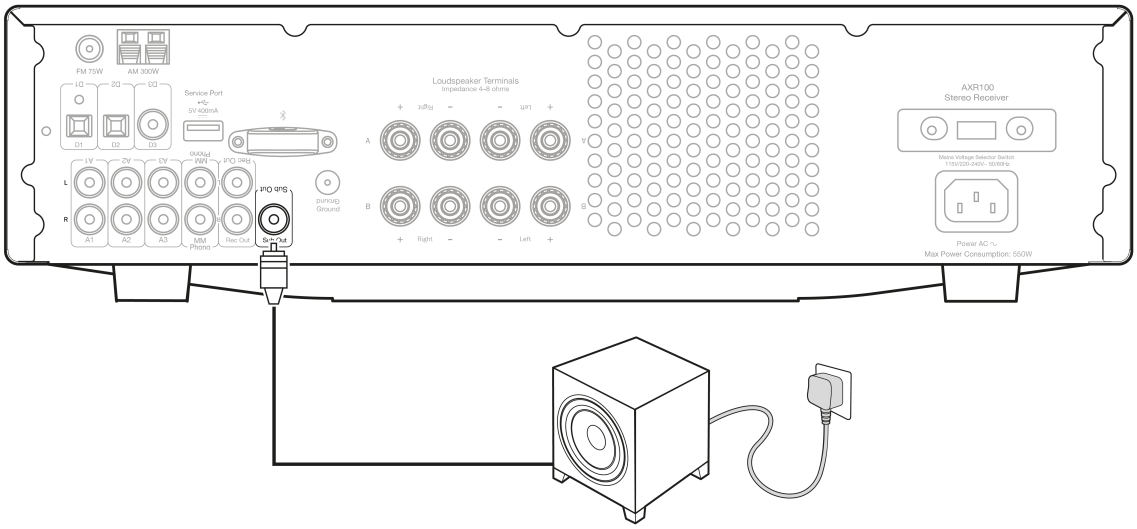
ターンテーブルにPhonoステージが内蔵されている場合、または外部バージョンを使用している場合は、「Phono」入力によって不要な歪みが発生する可能性があるため、他のアナログ入力に接続する必要があります。

注意:非フォノソースをフォノ入力に接続しないでください。




サブ出力は、アクティブなサブウーファーのLFE/サブ入力に接続するためのものです。

次の図は、サブウーファーのLFE/Sub入力を介してアンプをアクティブなサブウーファーに接続する方法を示しています。



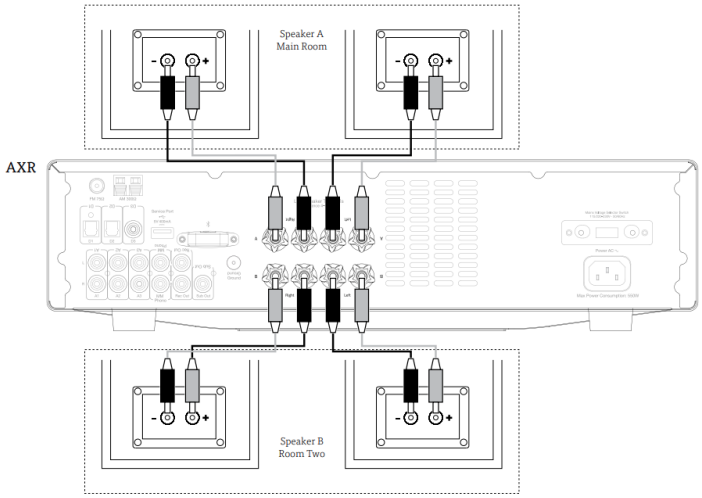

## スピーカーBの接続

アンプの背面には、メインとは別のスピーカー（例：他の部屋に設置されたスピーカー）が一対接続できるように「スピーカーB」出力が用意されています。

フロントパネルならびにリモコンのスピーカーA/Bボタンにより、2対のスピーカーのオン/ オフを切り替えることが可能です。スピーカーAとスピーカーBの切り替え操作について詳しくは、本書の「フロントパネル」または「リモコン」の項をご参照ください。

スピーカーAまたはスピーカーBのいずれか、スピーカーAとスピーカーB両方も選択できます。

注意:2対のスピーカーを使用する際は、それぞれ公称インピーダンスが8Ωのスピーカーを使用してください。




## バイワイヤ接続

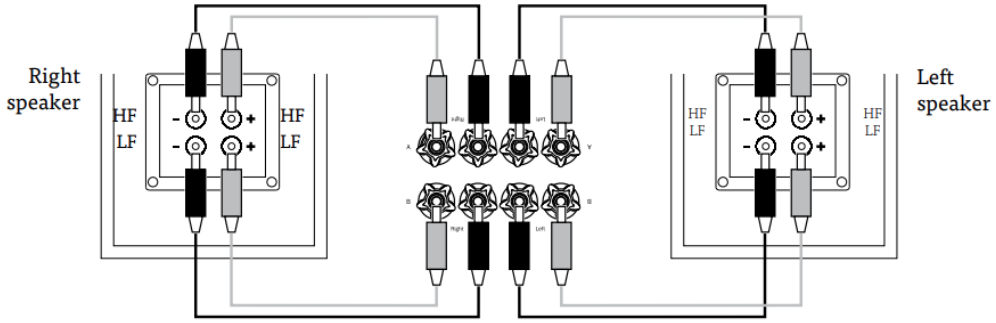
ラウドスピーカーに端子が2セット用意されている場合は、それらにバイワイヤで接続することが可能です。

バイワイヤにすることで、バスとトレブルの周波数を別個のスピーカーケーブルを通して送ることができるため、よりクリーンで鮮明なサウンドが実現します。

注意:

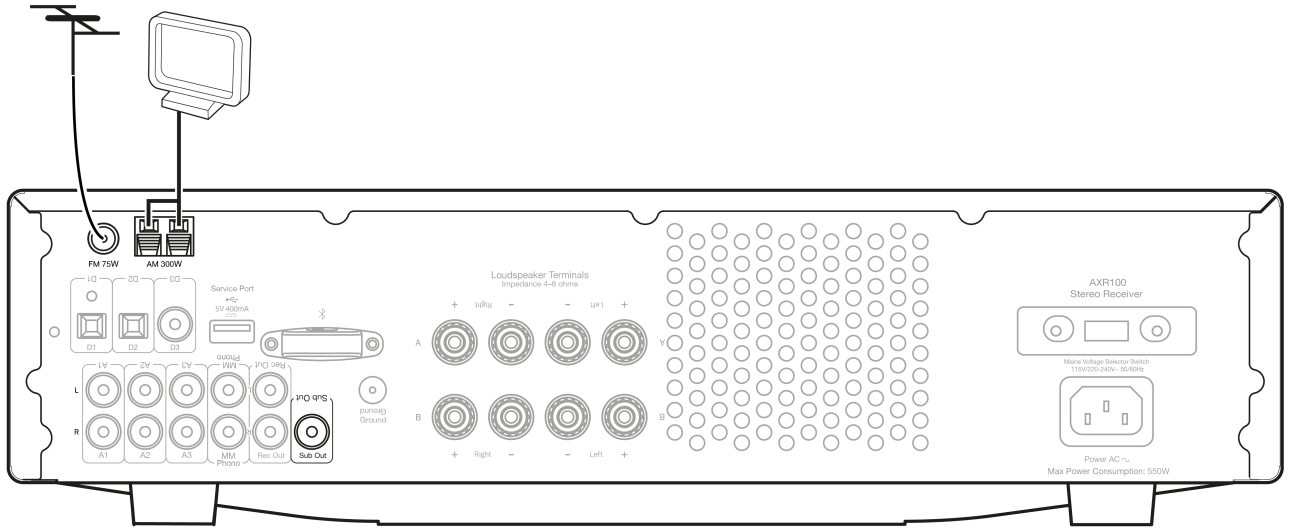
– このタイプの接続を機能させるためには、ユニットのフロントパネルでスピーカーAとBの両方を選択する必要があります。

– 接続する前に、スピーカー端子のバイワイヤリンクを取り外してください。詳細については、スピーカーのマニュアルを参照してください。


Right
speaker
HF
LF
HF
LF
Left
speaker
HF
LF
HF
LF

# アンテナ

Last updated: July 29, 2022 10:29. Revision #9838




注意:AXRには初期使用のための一時的なアンテナが同梱されています。常時の使用には、アンテナの屋外設置を強くおすすめします。

## AMループアンテナ

- 二又のアンテナコードの端をそれぞれアンテナ端子に接続します。
- 不必要なノイズを防止し、また最適な受信を実現するため、アンテナはメインシステムからできるだけ離して設置してください。
- 同梱のAMループアンテナの受信状況が芳しくない場合は、屋外AMアンテナを設置する必要があるかもしれません。

## FMアンテナ

- FM 75Ωソケットに同梱のアンテナを接続します。
- アンテナのコードを引っ張りながら移動して、受信に最適な位置を特定してください。

注意:よくお使いになる場合は、屋外に75ΩのFMアンテナを設置することを強くおすすめします。

# 操作方法

Last updated: September 27, 2022 03:17. Revision #10070

ユニットへの接続が終わってから、ユニット正面の電源ボタンを押してAXRを起動してください。

## 音源を選択する

ユニット正面の音源ボタンを押して、任意の音源を選択します。リモコンでも選択できます。

注:正しい入力ボタンが選択されていない場合、アンプから音は出ません。

## Bluetooth

BluetoothデバイスをAXRに接続するには:

1. フロントパネルのBluetooth/フォノボタンまたはリモコンのBluetoothボタンを押します。

ディスプレイに「PAIRING」（ペアリング）と表示されます。

2. AXRスピーカーとの接続は、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご確認ください。正常に接続されると、ディスプレイにデバイス名が表示されます。

注意:別のBluetooth端末を追加するには、Bluetooth /Phonoボタンを長押しして現在の接続を切断したうえで、ステップ2を繰り返します。

AXR スピーカーは、最大 8 台までBluetooth機器をペア設定できます。

## BLUETOOTHトラブルシューティングガイド

BluetoothデバイスをAXRに接続できない場合は、次のトラブルシューティング手順をお試しください。

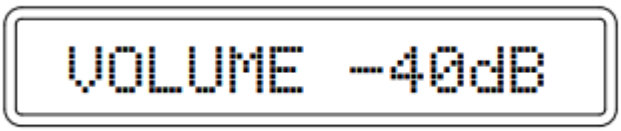
- Bluetoothソースが選択され、AXR が「ペアリング」モードになっていることを確認します。
- Bluetoothデバイスがペアリングモードになっていて、別のBluetoothユニットにまだ接続されていないことを確認します。
- デバイスの検出可能なBluetooth項目のリストからAXRを忘れて、ペアリングプロセスをもう一度開始します。
- AXRで工場出荷時設定へのリセットを実行します(上記の「出荷時設定へのリセット」セクションを参照)。

## 音量の調節

リモコンの音量アップまたは音量ダウンのボタンを押すか、ユニットシステムの正面にある音量コントローラーで調整します。新たに選択されたレベルが、ディスプレイに短時間表示されます。

音量はマイナスdBで表示されます。0dBが最高レベルです。

だんだんと進むマイナス表示は、音量がだんだんと下がっていることを示します。




## オーディオ設定の調整

バス、トレブル、およびバランスの調整は以下のように行います。

1. 設定メニューに入るには、ユニット正面またはリモコンのMENUボタンを押します。

2. メニューボタンを押して、任意の設定に移動します。Bass ( バス ) 、Treble ( トレブル ) 、そしてBalance ( バランス ) の順に表示されます。

3. バス、トレブル、またはバランスを調整するには、音量コントロールを回すか、リモコンの音量ボタンを押します。

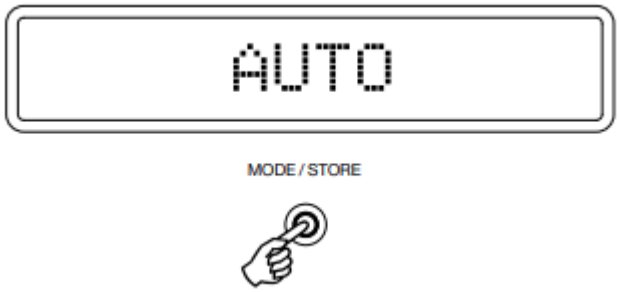
4. 設定メニューを終了するには、5秒間待ちます。5秒経つと、普通の状態に戻ります。

## 内蔵チューナーをチューニングして聴く

ユニット正面にあるFM/AMボタンを使って、またはリモコンのFMボタンないしAMボタンを押して直接チューナーを選択します。

ユニット正面のFM/AM ボタンを連続して押すと、押すたびにFMモードとAMモードが切り替わります。

注意:初めてのチューニングでは、AXRをオートモードに設定することをおすすめします。こうすることでチューニングが簡単になります。ユニット正面のMODE/STOREボタンを押します。このボタンを押すと、Priset ( プリセット ) 、Auto ( オート ) 、Manual ( マニュアル ) の順番でモードが選択されます。



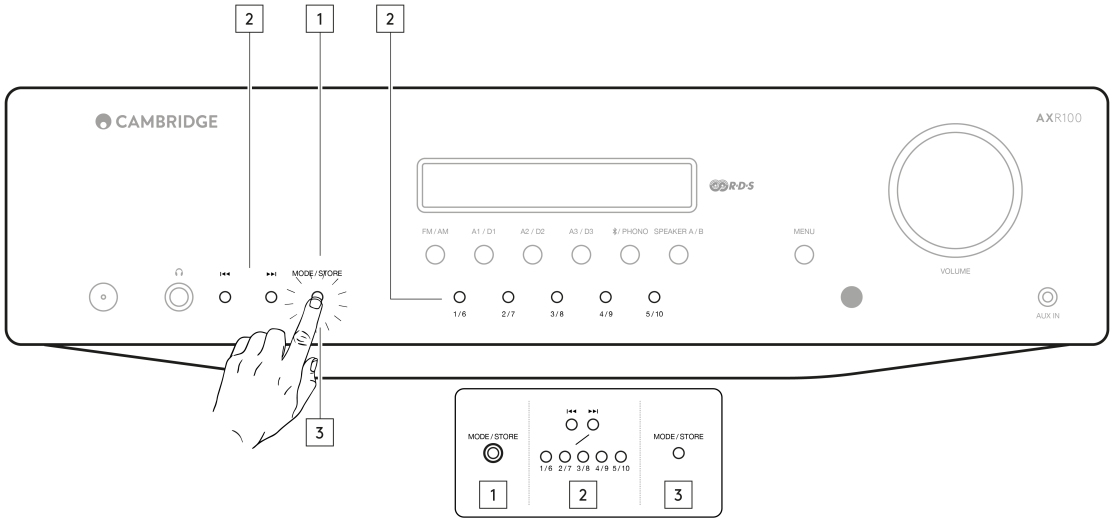

オートモードが選択されているときに、「スキップ/スキャン」ボタンを押し、ラジオ局の周波数をスクロールダウンしていくか、早送りの「スキップ/スキャン」ボタンを押せばスクロールアップできます。

チューナーは強い音声電波を探知したところで止まります。別のラジオ局に移動するには巻き戻しまたは早送りボタンを押すだけです。

## 無線プリセットの保存と再割り当て

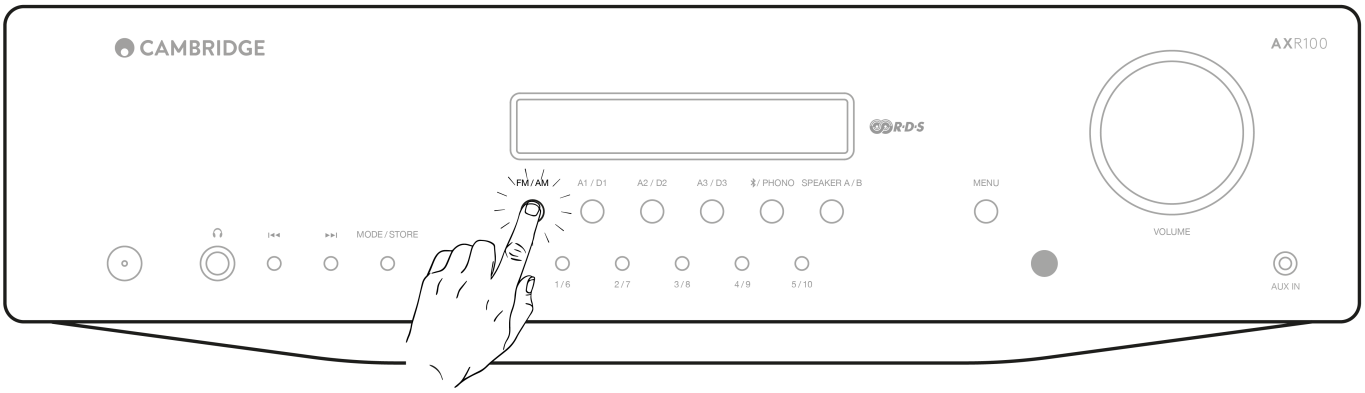
ラジオ局をプリセットに割り当てたり、既存のプリセットを新しいプリセット場所に再割り当てしたりするには、保存する周波数またはステーションを聴きながら、以下の手順に従ってください。

1. 「モード/ストア」ボタンを長押しします。
2. 「スキップ/スキャン」ボタンまたは「プリセット」ボタンを使用して、ステーションの保存先のプリセット位置を選択します。
3. 「モード/ストア」ボタンをもう一度押して、選択を確定します。
4. ラジオ局が選択したプリセットに割り当てられます。




重要事項： プリセットは波帯ごとに別々に保存されるため、FM 局では 15 個のプリセットスロット、AM 局では 15 個のプリセットスロットを使用できます。

FM/AM ボタンを押して、バンド、およびFM/AMプリセットのバンクを切り替えます。




注：「保存」モードでは、ボタンをすばやく押さない場合(2秒以内)、ユニットは「保存」モードから抜け出し、プリセットは保存されません。

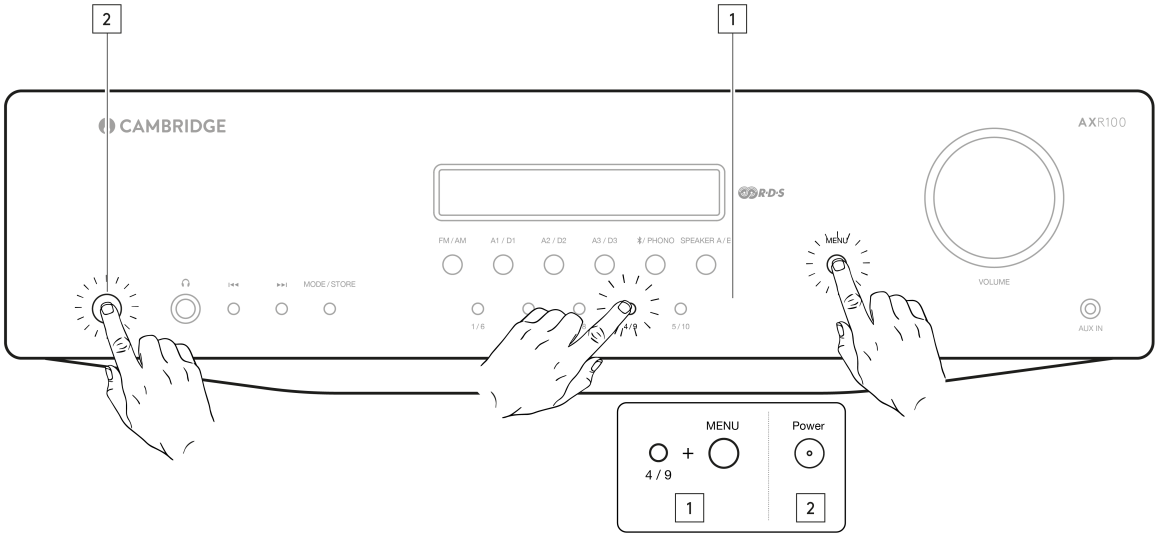
## チューナーの設定

このユニットではチューナーのリージョン設定が変更可能です。他の国に移ったときには、リージョン設定変更の必要性が発生する場合があります。

リージョンには「北米」または「欧州/世界の他の地域」の2種類があります。適切なリージョンを選択することで、正しいディエンファシスとチューニング手順が設定されます。

注意:チューナーの設定を変更すると保存されたプリセットはすべて消去されます。ユニットを別の地域に移す場合は、供給される電源の電圧に合わせ、正規のディーラーに電圧設定を変更してもらう必要があります。

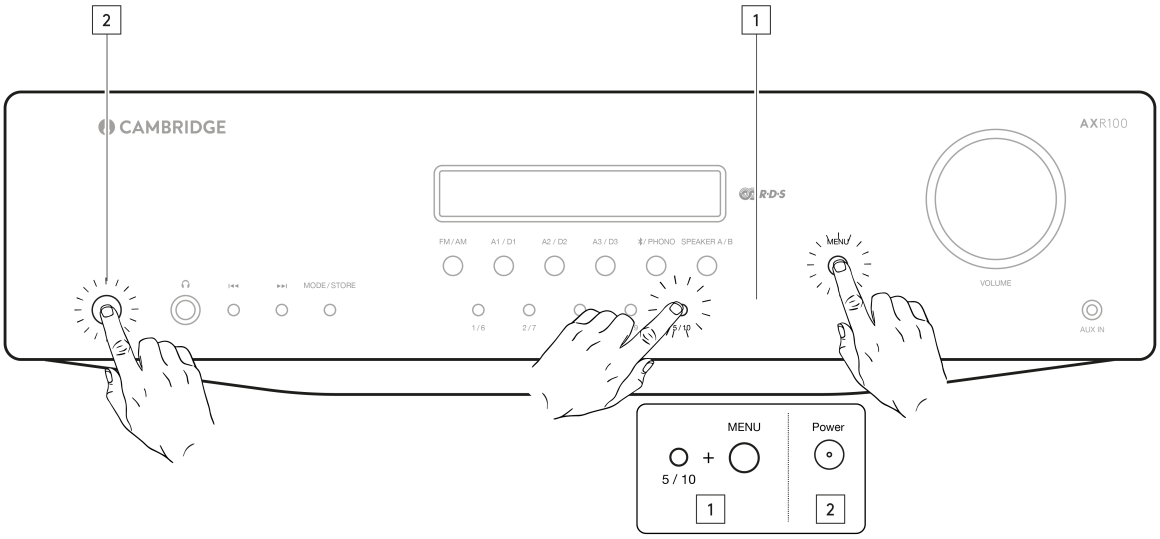
1. 4/9ボタンとMENUボタンを同時に長押しします。ディスプレイにはソフトウェアのリビジョン、それから北米向けを表す「CU」または欧州/世界の他の地域向けを表す「EU」と表示されさます。
2. 電源を落とし、再びオンにして、ユニットを再起動します。




## 出荷時の設定にリセット

AXR を工場出荷時の設定に復元し、AM と FM の両方の保存されているすべてのプリセットをクリアするには:

1. 5/10ボタンとメニューボタンの両方を同時に押し続けます。ディスプレイには「Reset」（リセット）と表示されます。
2. 電源を落とし、再びオンにして、ユニットを再起動します。


2
1
CAMBRIDGE
AXR100
R·D·S
FM / AM
A1 / D1
A2 / D2
A3 / D3
PHONO
SPEAKER A / B
MODE / STORE
1 / 6
2 / 7
5 / 10
VOLUME
AUX IN
menu
MENU
Power
5 / 10
1
2

# トラブルシューティング

Last updated: July 26, 2023 04:11. Revision #10069

電源が入らない

- 電源コードが機器本体にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 電源プラグが壁のコンセントにしっかりと差し込まれており、電源スイッチが入っていることを確認してください。
- 電源プラグまたはアダプターのヒューズをチェックしてください。
- ユニットの正面にある電源ボタンを確認してください。

音が出ない

- アンプで正しい入力ソースが選択されていることを確認します。
- スピーカーが正しく接続されていることを確認してください。
- チューナーを使っている場合は、アンテナの接続を確認し、利用可能なラジオ局が選択されていることを確認してください。
- ミュートになっていないことを確認してください。
- スピーカAとスピーカーBの設定がお使いのスピーカーにマッチしていることを確認してください。

音が歪む

- アンテナの接続と設置場所を確認してください。
- スピーカーの接続を確認してください。
- 選択した入力に適切なソースが接続されていることを確認します。(例：フォノ入力にラインレベルのソースを接続していない)

スピーカーからハム音が聞こえる

- すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。特にターンテーブルのグラウンド/シールド接続は要確認です。

不要なバックグラウンドノイズと干渉がある

- 干渉の原因となりそうな電子機器からユニットを遠ざけてください。
- アンテナの位置を変えてみてください。
- すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。特にターンテーブルのグラウンド/シールド接続は要確認です。

リモコンが機能しない

- 電池が切れていないかを確認してください。
- リモートセンサーを塞いでいるものがないかを確認してください。
- 青色のアイコンが付いたボタンが、一致する AX CD プレーヤーを操作するためだけに使用していないことを確認します。(「リモートコントロール」セクションを参照してください。 )

過熱防止

- このユニットには保護を目的として、過熱時シャットダウンする機能が備わっています。長時間連続して使用され、過熱状態になったときは、ユニットはシャットダウンされます。ユニットを10分間「OFF」のままにして冷やしてから、その後再び起動してご使用ください。
- 問題が解決しない場合は、ユニットが過剰に駆動されています。音量レベルを下げ、ユニットが風通しの良い場所に設置されていることを確認して、問題解決を図ってください。
- 8Ω以下のスピーカー2対を使うと、オーバーロードの原因となり得ますため、推奨いたしません。

ラジオプリセットを保存できない

- プリセットの保存の詳細については、「取扱説明書」セクションの「ラジオプリセットの保存」ガイドに従ってください。

ラジオの再生中にオーディオ/信号がない

- 適切な FM アンテナと AM アンテナがしっかりと接続されていることを確認します。
- ユニット前面のFM/AMボタンを使用してチューナーソースを選択します。

# 技術仕様

Last updated: July 29, 2022 10:29. Revision #9844

AXR85

出力

85ワット(8Ωまで)

THD（UNWEIGHTED）

- <0.01% @ 1kHz、定格出力の80%
- <0.002% 20Hz - 20kHz、定格出力の80%

周波数特性 (-1dB)

5Hz ~ 50kHz

S/N比 (1W)

>82dB (unweighted)

入力インピーダンス

47kΩ

パワーアンプ減衰係数

>50

スタンバイ時電力消費

<0.5W

最大電力消費

500W

ベース/トレブルコントロール:

シェルビング、アルティメットブースト/ カット  +/- 10dB @ 100Hzおよび10kHz

サブウーファー出力 :

200Hz 2次L+Rレベルは音量設定に従います

外形寸法:

83 x 430 x 340mm

質量

8.1kg

Bluetooth:

5.0 A2DP/AVRCP (SBC対応)

チューナー:

周波数帯:

ヨーロッパ

- AM (522 ~ 1629kHz)
- FM (87.5 ~ 108MHz)

アメリカ合衆国

- AM (530 ~ 1710kHz)
- FM (87.5 ~ 108MHz)

アンテナ入力:

FM 75Ω、同軸AM 300Ωワイヤループ/シングルワイヤ。

S/N比 :

60dB (typical) (FM)

歪み:

- <0.4% @ 1kHz 50kHzの偏差（FMモノラル）
- <0.6% @ 1kHz 50kHzの偏差（FMステレオ）

AXR100

出力

100ワット(8Ωへの)

THD（UNWEIGHTED）

- <0.01% @ 1kHz、定格出力の80%
- <0.002% 20Hz - 20kHz、定格出力の80%

周波数特性 (-1dB)

5Hz ~ 50kHz

S/N比 (1W)

>82dB (unweighted)

入力インピーダンス

47kΩ

パワーアンプ減衰係数

>50

スタンバイ時電力消費

<0.5W

最大電力消費

550W

ベース/トレブルコントロール:

シェルビング、アルティメットブースト/ カット  +/- 10dB @ 100Hzおよび10kHz

サブウーファー出力 :

200Hz 2次L+Rレベルは音量設定に従います

デジタル入力:

- PCM 16 ~ 24 ビット
- S/P DIF 同軸 32-192kHz
- トスリンク光 32-192kHz

外形寸法:

83 x 430 x 340mm

質量

8.1kg

Bluetooth:

5.0 A2DP/AVRCP (SBC対応)

チューナー:

周波数帯:

ヨーロッパ

- AM (522 ~ 1629kHz)
- FM (87.5 ~ 108MHz)

アメリカ合衆国

- AM (540 - 1700kHz)
- FM (88 - 108MhZ)

アンテナ入力:

FM 75Ω、同軸AM 300Ωワイヤループ/シングルワイヤ。

S/N比 :

60dB (typical) (FM)

歪み:

- <0.4% @ 1kHz 50kHzの偏差（FMモノラル）
- <0.6% @ 1kHz 50kHzの偏差（FMステレオ）

# よくある質問

Last updated: December 12, 2022 04:17. Revision #9836

## AXR85/100のアンプクラスは何ですか?

AXR85 および AXR100 は、クラス AB 増幅を使用します。アンプの分類の詳細については、こちらを参照してください。

## AXR85/100 で 4 オームまたは 6 オームのスピーカーを使用できますか?

AXRは8オームのスピーカーでのみ使用できると評価されており、4または6オームのスピーカーで使用することはお勧めしません。
AXRを4Ωまたは6Ωのスピーカーとともに使用すると、アンプが過熱し、長期的にはユニットが損傷する可能性があります。